

進路だより



茨城県立那珂高等学校 進路指導部

『18 歳の妥協は一生の妥協』

1 強い気持ちを持つ

那珂高校の玄関付近の通路に、『18 歳の妥協は一生の妥協』という言葉が掲示しています。皆さんは、言葉の意味をどのように理解していますか？

「第一希望を決めたら、絶対に妥協しない…。」 こういう強い気持ち、大切ですよ。皆さんの先輩のなかには、「絶対に警察官になる」という希望を叶えるべく、高校卒業後の採用試験に再チャレンジして合格。リベンジを果たした人もいます。まさに初志貫徹。その先輩は「先生、わたしはあの言葉を守りました」と、合格後に学校へ報告に来てくれました。



2 完全燃焼する

結果も大切ですが、そこに至る過程において「やり切ること」がより大切です。今の皆さんにとっては「那珂高校の 3 年間で、学習への努力を惜しまず、精一杯やりきること」です。「精一杯頑張ったけれども、第一希望には届かなかった。でも第二希望に合格した…。」
良いじゃないですか！ 合格おめでとう！
何かを悔やんだり、引け目に感じたりすることは、まったくありません。第一希望に向けて全力で努力したからこそ、第二希望に合格したのだと思います。かく言う私自身も、合格した大学は第二希望の学校でした。

しかし、「やれることをやらなかった」。あるいは、「やろうと思えばいくらでも出来たことをしないままに 1 年 2 年と過ぎてしまい、結局は行ける所へ行くしかなかった…。」
これでは後悔が残ります。一生残るかもしれません。不完全燃焼の人生になってしまうかもしれません。勉強だけでなく、何事にも本気で取り組むことのできない人になってしまうかもしれません。

ある意味において人間は、結果を 100% コントロールすることはできません。勉強の結果、入試の結果、競技スポーツの試合の結果…。すべてそうです。なぜなら、自分以外の他者の存在があるからです。人間は、自分以外の他者をコントロールすることは出来ません。しかし、自分をコントロールすることは誰にもできることです。

3 「いつでもできること」「その時にしかできないこと」

皆さんは自分の胸に手を当てて、いまの段階において、自分は「やり切っている」と言えますか？
高校生活の基本である学習活動を、後で人生を振り返って悔いの残らないよう、やり切っていると言えますか？
人生にはいつでもできることと、その時その時にしかできないことがあります。

これも皆さんの先輩の話です。
その先輩は、2 年生になったときに「このままじゃダメだ」と思い、自分を追い詰めるために、家にあったゲーム機をすべて処分。スマホのゲームアプリもすべて消去して、生活を変えたそうです。彼はその後ある国立大学に進学し、現在では成績優秀にて大学院への進学も視野に入れているそうです。

大切なことは、3 年間の学習を全力でやり切ること。
そしてやらなかったときは、そのことを、その結果をごまかそうとしないこと。他人を、そして自分を偽らないこと。
かく云う僕も、これまでの人生で、小さくない後悔を残してしまっています。それは誰のせいでもありません。自分のせいです。ですから、そのことを自ら背負って今も生きています。

人生の 1 年 1 年の重みは決して等しくありません。樹木にも節目があります。節目とは、伸びていく枝が二つに分かれるところです。その先どちらに向かって分かれていくのか…。高校時代は、まさにその節目です。
『18 歳の妥協は一生の妥協』。
さあ、今日からまた一緒に努力していきましょう。